ぞうぐみだより

3月の保育目標

・生活習慣の確認を行う
・年長への憧れを持ち、当番活動など、どんなことをしているのかを確認する

暖かい春の気候を感じられる日がやってきましたね。あっという間に今年度も残り一ヶ月となりました。子どもたちにとってはもちろん私たち大人にとっても例年とは少し違った一年でしたね…今月は、ぞう組での最後の一ヶ月。ぞう組で得た楽しい思い出や自信を胸に憧れの"くじら組"になれるよう、充実した一ヶ月を過ごしていきたいと思います。保育へのご理解、ご協力に感謝致します。一年間、ありがとうございました。担任：鳥魚遥

ぞう組での一年間…

年度初めの号外でもお伝えさせて頂いた通り、生活面、精神面での自立と自律を目標に保育を進めてきました。一年を通しての子どもたちの成長をお伝えしていきたいと思います。

《生活面》

手洗いうがい…今年は特にこまめな手洗いうがいの声掛けを徹底して行いました。"分かってるけど面倒だな"で手を抜いたり、保育士に言われるからする"の意識が多く見られた子どもたちでしたが、"てあらいうた"に合わせて楽しい手洗いが身につき、曲が流れなくても、手洗い→うがい→消毒の流れが定着するようになりました。

話の聞き方…楽しいことがだ～いすきなあまり、保育士や外部の先生（スイミングや体操教室など）が説明している途中で動き出したり、次の行動に移ろうとすることも多かったのですが、"最後まで聞いてから動く"という姿勢や意識が身につき集団としてのまとまりが強くなりました。先走ってしまったことで生まれた失敗や困り感が子どもたちの中で"次はもっとこうしよう!!"と前向きな姿勢に繋がったのだと思います。

衣服の調整…気候の変化や活動によっての体の温まりを感じとり、自分で考え行動する姿が沢山見られるようになりました。"朝は寒くて長袖を着てたけど、お昼になって陽が差し、外に出てみたら暖かい…から半袖に変えよう"など、季節の変わり目も上手に対応出来ていました!

《活動面》

ルール・約束…"なぜ守らなくてはいけないのか"約束をするときには必ず理由を伝え、約束を守る意味を子どもたちに問い、一緒に考えてきました。集団という社会の中で、自分も、そしてみんなも気持ち良く過ごす為にはどうすべきか…意味も理解することで子どもたち同士でも教え合いや声を掛け合う雰囲気が広がっていました。

友だちとの関わり…日常生活や様々な行事の中で、色んな時間、思いを共有し、友だちの意見にも耳を傾けながら譲り合ったり、協力する姿が増えてきました。